

学校評価保護者アンケート集計結果

学校評価アンケートの結果をまとめました。アンケート結果を基に成果と課題を分析して、今後の学校運営に生かしていきます。多くの方にご回答をいただき本当にありがとうございました。(回収率 **79.1%** 昨年度81.9%)

A:たいへん思う B:だいたい思う C:あまり思わない D:ほとんど思わない 上段:昨年度 **下段:今年度**

評価項目	A	B	C	D
① お子様は、楽しく学校に通っていると思いますか。	34.7 26.0	58.8 63.0	4.0 7.8	2.5 3.2
② お子様は、友達と仲良くしていると思いますか。	31.2 21.9	62.3 72.4	6.0 4.2	0.5 1.5
③ お子様は、挨拶をしていると思いますか。	18.7 19.8	67.7 64.1	12.6 15.1	1.0 1.0
④ お子様は、正しい言葉遣いをしていると思いますか。	3.6 4.2	74.0 66.7	22.4 28.6	0 0.5
⑤ お子様は、早寝早起きをしていると思いますか。	18.1 24.0	56.3 46.4	23.1 24.5	2.5 5.1
⑥ お子様は、朝ご飯を食べていますか。	73.8 71.4	20.7 21.9	4.5 5.2	1.0 1.5
⑦ お子様は、宿題をしていると思いますか。	65.8 60.4	31.2 30.7	2.0 6.8	1.0 2.1
⑧ 学校は、楽しく分かりやすい授業をしていると思いますか。	32.4 19.8	61.6 69.8	4.5 7.8	1.5 2.6
⑨ 学校は、子ども理解に努め、個の尊重をしていると思いますか。	30.3 26.0	61.6 59.9	7.1 11.5	1.0 2.6
⑩ 学校の教育環境は、お子様に適していると思いますか。	26.2 21.4	64.6 64.1	7.2 13.0	2.0 1.5
⑪ 学校は、ご家庭と連携できていると思いますか。	29.3 27.6	63.1 56.3	6.6 14.6	1.0 1.5

【アンケート結果から】 ※AとBの合計を肯定的回答と見ます。

項目④⑤以外の項目が、AとBを合わせて80%を超えているのは非常にうれしいことです。これは、保護者の皆様や地域の皆様のご支援・ご理解・見守りのおかげであると感じております。ありがとうございます。

項目①は、肯定的な回答が89%とうれしい数字なのですが、昨年度と比べると減少しています。楽しく通えていないという回答が11%(昨年度より4.5ポイント増加)となっており、学校としては重く受け止めております。学校が楽しい居場所となるような取組が今後も必要であると考えます。

項目②は、友達と仲良くしているという回答が94.3%と昨年度より高くなっています。とてもうれしいことですが、楽しく通えていないと思われる回答が5.7%あることも事実です。今後もしっかりと個別に対応していきたいと思います。

項目③は、肯定的な回答が83.9%になっており、昨年度よりも少し低くなっています。今後もあいさつ運動等を行い、自分から明るいあいさつができる子どもになるよう支援していきます。

項目④は、肯定的な保護者の回答が70.9%であり、昨年度を下回っています。言葉遣いについては、いじめにつながるということを強く意識して、「みそあじっこ」の取組の一つとして支援を続けていきます。

項目⑤は、肯定的な回答が70.4%と昨年度を下回っており、とても気になります。項目⑥⑦は、⑥93.3%⑦91.1%と90%を超えていますが、昨年度を下回っています。

項目⑤⑥⑦については、「おさゆき生活・学習いきいき週間」に取り組んでいますが、まだまだ向上の余地はたくさんあります。子どもたちへの支援(助言)を継続していきます。家庭でも継続した声かけ(早寝・早起き・朝ごはん・宿題)をよろしく願いいたします。

項目⑧⑨⑩⑪については、⑧89.6%(昨年度94%)⑨85.9%(昨年度91.9%)⑩85.5%(昨年度90.8%)⑪83.9%(昨年度92.4%)と、どの項目も昨年度を下回っています。かなり厳しい評価をいただきました。CとDを合わせた評価が10%を超えていることを真摯に受け止めて、今後も職員の指導力の向上を継続していきます。

【記述内容から】

○「せんだんピック」を応援合戦や赤白対抗等、コロナ禍前の形態に戻し、競う心も育ませたほうがよい。

⇒「せんだんピック」では、これまで通りの教師主導型で行っていた「せんだんピック」を「対話の重視」「多様性の尊重」等を念頭に置いた「ポストコロナの学校行事」を意識して行いました。これは本校だけではなく全市の流れです。それに伴い、従来の「運動会」とは異なる形にはなりますが、ご理解いただけたらと思っています。意見をくださった方のおっしゃるとおり、「勝ち負けはあっていい」のです。「勝った人は純粋に喜び、周りはそれをたたえる。」「負けた人は悔しがる。その悔しさがあるからがんばれる。」「ゴール時には手を挙げていい」のです。なお、友達と競う場は「せんだんピック」以外でも学校生活ではいくつかあり、運動という観点でいえば、普段の体育科の学習「ゲーム・ボール運動」では、相手チームと得点を競い合い、勝敗をつけています。

「せんだんピック」の種目内容については、いくつかのご意見をいただいております。今後の参考にさせていただきます。

○「せんだんピック」の練習時間が短く、子どもたちが疲れていた。

⇒学年によっては、毎日の練習で疲れが出てしまい申し訳ございませんでした。2学期制も考えて、来年度以降、より計画的に行い、通常の時間割の「体育」の授業で練習できるように努めます(前期の体育科の授業から、日曜日開催も視野に)。

○「せんだんピック」での保護者観覧方法がとてもよかった。

⇒入れ替えにご協力いただきありがとうございました。今年度は平日開催になりましたので、土日開催に比べて観覧人数が少なかったことも一因だと思います。来年度もよろしくお願いいたします。

○「せんだんピック」等の大きな行事の案は、スケジュールだけでも、もう少し早く出してほしかった。

⇒大きな行事の日程は、「年度初め」「夏休み明け」「冬休み明け」に配布する手紙で確認してください。また、1か月前を目安に行事に関する手紙を出すように努めておりますが、多少前後する場合がございます。

○給食試食会の日時等を1か月前には知らせてほしい。

⇒給食試食会はいつでもできるものではなく、日程調整は献立内容や本校で行っている菅生中学校・守恒中学校の給食との兼ね合いで決定していきます。また、給食試食会は本校の学校行事ではなく、市民センター主催の家庭教育講座の一つで行っています。多くのことで調整が必要であったため、今年度は11/21実施10/25手紙配布になりました。学校外が主催の催しについては、関係する組織と確認して遅くならないように努力します。

○2学期制になったが、夏休み前と冬休み前の成績処理のための早帰りは必要ないのではと思う。休校になった場合、振替授業をしてほしい。休みが多くなったと感じる。

⇒「あゆみ」はありませんが、職員の成績処理(観点別評価)は今まで通り行っております。また、夏休み前と冬休み前に行うのは、成績処理した内容を個人懇談会で話す目的もございます。なお、早帰りによる授業時数削減ですが、最も影響を受ける上学年で「年間-(45分×8)時間」程度になりますが、「文部科学省が示す標準授業時数」は十分確保できています。休校になった場合の振替授業は、休校等が多く発生し「文部科学省が示す標準授業時間数」を大幅に下回る可能性が生じた場合を除き、ありません。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

○教師の発言が気になる。学校と家庭との連携が以前に比べて取れていない気がする。学校での子どもの様子をもう少し知りたい。

⇒いただいたご意見を重く受け止め、児童を育てる立場として、発言内容・言葉遣いに加え、仕草や気配り等、襟を正して取り組んでまいります。子どもたちの様子については、いろいろな形での発信に努めます。

○懇談会の回答を送ったが自分の記録として残らないため、正しく送られているか心配になった。

⇒スクリーンショットやメモ等で対応していただけたらと思います。また、連絡帳等で担任にお知らせいただきましたら、すぐに確認をします。

○放課後の帰宅時間や自転車の乗り方など、学校外のことも少しは注意を促してほしい。

⇒引き続き、帰りの会等で注意事項については触れるようにしますが、ご家庭でもどうぞよろしくお願いいたします。

○「大谷グローブ」を使わせてほしい。⇒体育委員会でルールを決めて使えるようにします。

○今年度、先生方のチームワークや一体感をとても感じました。日々の子どもたちへの声かけや授業など感謝しています。鯉のぼりまつりや川まつりなど様々な地域の行事にまで足を運ばれ、ご家族とともに長行に親しんでいた嬉しさは忘れられません。学校以外の場所で先生方に出会う子どもたちの顔は嬉しさに満ち溢れていました。学校で保護者がかかわる行事がコロナ前より減っているので、地域の行事で先生方と一緒できるのは、保護者にとっても貴重な機会になっていると思います。週末や長期休み期間になるので、先生方の無理のない範囲で、参加してもらえると嬉しいです。

⇒ありがとうございます。今後も無理のない範囲で参加させていただきます。

※記述面でもたくさんの励ましの言葉や努力を要してほしい点などをいただきました。全てのご意見を掲載することができませんでしたが、厳しい意見も含めて全職員で確認し、学校として改めること、職員一人一人の支援の仕方もしっかりと受け止め、今後自身の行動を見直し改めるいい機会になりました。 たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。